

平成26年度 事務事業総点検シート(1)

事務事業名	英語教育推進事業							
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校企画	課	点検責任者(課長名)	間地

事業基本情報(必要性)	1	堺市マスタープランの政策体系	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます							
			施策	3	学ぶ力・生きる力の育成	2	事業開始年度	S 62 年度				
	3	根拠法令等	教育基本法、学習指導要領									
	4	事業実施の経緯	学習指導要領における外国語科の目標は「コミュニケーション能力の基礎を養う」ことであるとされており、その実現のためには、児童生徒がネイティブ・スピーカー(NS)との交流を通して、外国の人々や文化に興味・関心を持ち、英語を使って積極的にコミュニケーションを図ることのできる機会を設けることは不可欠である。									
	5	事業の対象	市立学校の児童生徒									
	6	事業目的	児童生徒がNSとの交流を通して、外国の人々や文化に興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする機会を設け、英語を使ったコミュニケーション能力の基礎を養うことを目的とする。									
	7	事業内容	市内小中高等学校にNSを配置する。									
			<input checked="" type="checkbox"/>	直接実施	<input checked="" type="checkbox"/>	業務委託	<input type="checkbox"/>	補助金	<input type="checkbox"/>	負担金	<input type="checkbox"/>	その他()

項目		単位	H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	
事業コスト	8	事業費 (a)	千円	147,874	140,635	137,520	157,302
	主な事業費内訳	ネイティブ・スピーカー派遣委託料等	千円	144,351	136,990	132,792	148,787
		英語教育コーディネーター報酬	千円	3,173	3,178	3,249	3,208
			千円				
	財源内訳	一般財源	千円	147,874	68,568	137,520	9,122
		国・府支出金	千円				3,180
その他(子ども教育ゆめ基金繰入金)		千円		72,067		145,000	
9	人件費(再任用、短期臨時職員等含む) (b)	千円	5,100	4,980	4,920	4,740	
10	事業コスト(c)=(a)+(b)	千円	152,974	145,615	142,440	162,042	

指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動指標(有効性)	小学校5・6年生各学級へのNS派遣時間	時間	目標	10	10	10	12
		実績	10	10	10		
		達成率	100%	100%	100%		
活動実績単位コスト(事業コスト/活動実績)		千円	15,297	14,562	14,244		
算出方法・計算式など							
指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
活動指標(有効性)	全中学校にNSを2学期間配置し、各学級において週1回程度、NSとのチーム・ティーチングを展開。	校	目標	43	43	43	43
		実績	36	43	43		
		達成率	83%	100%	100%		
活動実績単位コスト(事業コスト/活動実績)		千円	4,249.3	3,386.4	3,312.6		
算出方法・計算式など							
【数値以外の目標や実績など】							

平成26年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	英語教育推進事業							
担当部署名	教育委員会事務	局	学校教育	部	学校企画	課	点検責任者(課長名)	間地

成果指標(有効性)	指標名	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	英語の授業はよくわかると答える生徒の割合	校	目標		63	63	65	65
			実績		60	62	62	62
			達成率		94%	98%	95%	95%
	算出方法・計算式など	堺市「子どもがのびる」学びの診断における質問紙調査の結果						
	指標名	単位		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	英検3級程度の力を有する生徒の割合	%	目標				30	30
			実績				26	26
			達成率				87%	87%
	算出方法・計算式など	授業力向上研究校における英語能力判定テスト(3年)の結果						
	【数値以外の目標や実績など】							

事業点検項目(効率性・妥当性)	指標の傾向の確認(活動指標・成果指標それぞれの経年変化)								
	13	活動実績単位コスト(11)		活動指標の達成率(11)			成果指標の達成率(12)		
		<input checked="" type="checkbox"/> 縮減傾向 <input type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 上昇傾向		<input type="checkbox"/> 上昇傾向 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 低下傾向			<input type="checkbox"/> 上昇傾向 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ横ばい <input type="checkbox"/> 低下傾向		
		関連事業との統合の可能性		統合可能性のある関連事業名			関連事業がある場合、統合の可能・不可能の理由		
	14	<input type="checkbox"/> 関連する事業と統合可能 <input type="checkbox"/> 関連する事業はあるが、統合不可能 <input checked="" type="checkbox"/> 関連する事業はない					小中学校において、文部科学省の学習指導要領に基づき実施されるものであるため。		
		民間実施や市民協働の可能性		左記の理由					
	15	<input type="checkbox"/> 可能性がある <input type="checkbox"/> 可能性がない <input checked="" type="checkbox"/> すでに実施している		すでに民間に業務委託をしてNSを派遣している。					
		受益者負担の確認		左記の理由					
	16	受益者負担の有無	見直しの必要性	小中学校における学習指導要領に基づく教育活動の一環として実施しており、受益者負担はなじまない。					
		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無						
	17	市民ニーズとの合致性		把握方法・把握していない場合、その理由					
		市民ニーズの把握		平成23年度より、堺市「子どもがのびる」学びの診断の質問紙で、「英語を話せるようになりたい」「英語の授業は楽しい」などの項目を設定し、児童生徒の実態を把握している。					
18	比較参考値(政令指定都市の状況、国等の基準との比較等)		【政令指定都市の状況】 仙台、千葉、川崎、横浜、浜松、岡山、北九州市は小学校5・6年各学級に30時間程度NSを配置している。その他、相模原、新潟、熊本市なども20時間程度配置している(堺市は10時間程度)。中学校については、仙台、さいたま、川崎、相模原、浜松、名古屋、京都、神戸、北九州市で各学級に年間30~35時間程度NSを配置している。(堺市は25時間程度)						
			【国等の基準との比較】 文部科学省は、小学校における外国人教員等による指導の実施目標時数を総授業時数の3分の1程度とし、中学校においては英語授業に週1回以上は外国人教員が参加することを目標としている。						
			【その他の状況】 大阪市は約80名のALT(本市におけるNSに相当)を直接雇用し、小中学校においてネイティブスピーカーを活用した授業を行っている。						

改善取組	19	課題	「活動指標」「成果指標」「事業点検項目」での点検内容を踏まえて記入 小中学校における、NSを有効に活用した授業のあり方。
		改善取組	上記課題に対する平成26年度における改善取組
	20	課題	上記事業に対する平成26年度における改善取組
		改善取組	教員研修を充実させることで、指導力及び英語力の向上を図る。

事業所管課評価	21	事業の方向性	左記の理由(必要性・有効性・効率性・妥当性を踏まえて記入)
		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止	学校現場は通年配置を希望している。NSと交流する機会を多く持った児童は中学校以降で伸びが見られる。
	22	公金投入の方向性	左記の理由
		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> ゼロ	優秀な人材を確保するためには、直接雇用や複数年契約などの検討が必要。